

次の【資料①】【資料②】【資料③】を読み、以下の問いすべてに答えなさい。

問 1

【資料①】の筆者は、21世紀に入り、OECD諸国において、労働市場のあり方がどのように変化し、それに対応して、完全雇用に関する目標はどのように変化すべきだと考えているか。400字以内で説明しなさい。

解答は、解答用紙（問 1 用）に横書きで記入すること。

（配点 10 点）

問 2

【資料②】の筆者は、ベーシックインカム（BI）によって、労働市場において完全雇用を追求してきたこれまでの施策の行き詰まりをどのように改めることが可能だと考えているか。400字以内で説明しなさい。

解答は、解答用紙（問 2 用）に横書きで記入すること。

（配点 10 点）

問 3

【資料①】および【資料②】の考え方のうち、いずれか一方の筆者の見解に立って、他方の筆者の見解から想定される批判について考慮しつつ、【資料③】で指摘されている若年雇用問題を解決するためにどのような方策が考えられるか、1000字以内で論じなさい。

解答は、解答用紙（問 3 用）に横書きで記入すること。

（配点 30 点）

※【資料①】【資料②】【資料③】は、いずれも著作物からの引用である。本文を省略した箇所は《中略》または……で示したが、見出し及び注の省略はこの限りではない。数字の表記については、一部修正を加えている。

※【資料①】【資料②】【資料③】の出典は、試験終了後速やかに大阪大学大学院高等司法研究科のホームページに公表する予定である。